京都帝國大學新聞
昭和十六年二月二十二日（土曜日）
第三百四十一号

學園の決意強し

十一日 詔書捧讀式擧行

大詔を拜し奉りて

羽田總長訓示

戰爭と科學徒

新年拜賀式

十七「年度」學年曆確定す

夏期特別研究期間を新設

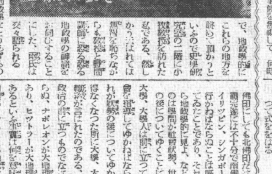
卒業式

苦節五年の功なり

日本地政學の意氣揚る

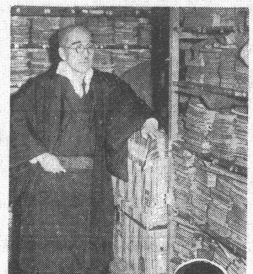
圖書館竣工を期して

新聞研究室創設



和露文庫寄託さる

徒勞史の纖維書二千五百冊



諸學振に

自然科學部

教練査閱指示

脚下照顧

岩波書店 刊新
岩波文庫
ゲルツ哲學史 中卷之一 眞下信一譯
改版 自覺と觀と反省 西田幾多郎著
明徳記
聖書物語 上卷
支那通史 下卷
ランケ世界史概観 近世史の諸時代
ファラデー電氣學實驗研究(一)
ブール 昆蟲記 第六卷
日本評論社新刊
第二經濟學概論 高田保馬著
勢力說論集 高田保馬著
日本經濟學會年報 第一輯 日本經濟學會編
法・憲法及國家 田畑忍著

回顧と展望　2601――2602

法律　企業法の發展
大隅健一郎

「國家の問題」
高田保馬

經濟　傳統的經濟論の批判的擴充
青山秀夫

天文臺の接收
ウィルソン山　荒木俊馬

「回顧七十年」
深井英五著
堀江保藏

ギリシァラテン古典の完訳
生活社 刊行の言

最强の國なりし、これらの、その最强時の强力にして絢爛たる文化――珠玉の如き價値を萬人に知られながら、原典難解のため今まで重譯によらざるを得なかつたといふのが實情である。

何人も異存のない、これら最高最貴の原典譯を、又、學界至高の人を得、十年廿年の業を賭し、刊行せんとす。

監修 田中秀央　呉茂一
顧問 落合太郎　高津春繁
編輯委員 青木巖　高田三郎
有賀鐵太郎　田中美知太郎
泉井久之助　長澤信壽
神田盾夫　服部英次郎
松平千秋

既刊 ヘロドトス歷史 上・下　青木巖譯
近刊 トゥーキューディデース歷史　青木巖譯
作者不明 南海案内記　村川堅太郎譯
カエサル ガッリア戰記　鈴木成高譯

米川正夫全譯・全三十一巻 ドストエーフスキイ全集（内容見本進呈）
第一回配本・第十巻 罪と罰 (1)
（武者小路實篤氏の言葉）
自分はドストエーフスキイを大作家の一つの標準として、他の人を批判する癖があるが、この批判に耐え得る作家は全世界に何人ゐるか。彼は實に驚くべき作家だ。……米川氏の譯も實に良心的で常に感心してゐる。
これは作者の創作活動の後半期に屬する長篇で、心理描寫の深刻鮮明なること世界稀有と云はれた傑作である。
・各作品を發表年次的に收載・「創作ノート・手帖」を附す・他資料萬載
B6判各平均四五〇頁 9ポ組布裝函入典雅本 頒價二円八〇錢 送料（内地）一四錢

現代心理學・第一回配本 國防心理學
〔全十二巻〕全巻内容見本呈
（内容）國防心理學の現況（小保内虎夫）航空心理（I）(成層圏の問題(豊原恒男))・(II)加速度の問題(倉石精一)防空・僞裝（横瀬善正）戰場心理（橘覺勝）防諜・宣撫・文化工作（望月衛）戰傷者の心理と職業保護（辻村泰男）各兵科の適性と訓練（兼子宙）統率の心理（西澤賴應）――以上の内容項目の示す如く決戰下の軍事心理に關する現下焦眉喫緊の諸問題を取扱ふ。本書の活用を切望す。
A5判各平均四二〇頁 9ポ組クロース裝函入 頒價三円八〇錢 送料（内地）二二錢

書き下し長篇小説・新刊 或る晴れた日に
高見順著
――長篇小説叢書内容見本進呈――
地球上にたゞ一つとり殘された珍奇な島として世界的に有名なペリー島も、今や日・米英決戰下の渦中にあつて新世紀と舊世紀の波濤にゆすられてゐる。著者は親しく旅して、くるめく時代性をつぶさに見聞して來た。その豊富多彩な收穫はここに顯然たる文學的昇華をなし、新東亞開拓の敢闘されをるさなかに、示唆と激情に富む近來稀有の力作としてこの作品を書き下した。
定價一円八〇錢 送料一四錢

三代名作全集・第八回配本 菊池寛集
〔全二十三巻〕全巻内容見本呈
（内容）大島が出來る話、無名作家の日記、忠直卿行狀記、由良之助役者、恩讐の彼方へ、藤十郎の戀、たちあな姫、義民甚兵衛、仇討禁止令、船醫の立場、俊寛、屋上の狂人、父歸る、義民甚兵衛、眞似、石橋山、時の氏神――の名篇珠玉を網羅。の人道主義の標榜を承けて現實主義へ橋渡しする役割としての作者の第三次「新思潮」に據る運動は偉大な日本文學の道標である。
B6判各平均四二〇頁 8ポ組典雅裝函入美本 頒價二円五〇錢 送料（内地）一四錢

科學新書・新刊 日本氣象學史
――科學新書内容見本進呈――
氣象台技師理博 荒川秀俊著
（項目）日本氣象學史談・各地氣象台、測候所史・氣象學關係學會史・觀測・天氣圖と氣象電報・氣象協議會、測候技術官養成所、氣象測候員養助會・日本氣象學の話題・日本氣象學界の恩人・日本氣象學書・日本氣象年表――以上の内容の示す如く、氣象學が科學として誕生して以來の歷史、日本氣象學界の好話題等、興深く、然も日常生活に密接な氣象を科學的に理解させる。
定價一円二〇錢 送料一〇錢

東京日本橋通三ノ一　振替東京一〇八〇二
河出書房

教育生命論
文學博士 福島政雄著
規格四B6上製函入 價一圓八十錢 送一〇
わが國体の精神と大乘佛教の精神との融合點より、茲に教育問題を内面的に考察し、而して教育者たるものゝ内面的鍛錬に就いて自己の体驗を通して僞されたのが本書であり、あらゆる角度より完全なる檢討を盡くす再讀の書。

教育哲學
文學博士 稻毛金七著
規格判A5上製函入 價十六圓 送三八
本書は難解且閑却なる教育哲學に對し、歷史的及論理的二方面より体系化し、其發生並發達過程を詳にすると共に、古今東西の教育哲學の脆弱なる論據に警石をおく大著述にして、獨自の哲學な創見發表して世に問ふ力著。

歷史哲學研究
由良哲次著
規格判A5上製函入 價四圓八十錢 送二三
本書は歷史的時間の起原と生成する歷史的意識を考察する歷史的意識論、歷史的存在と認識なるその根本形式たる個性といふ觀點より考察する歷史的認識論、更に時間的と個性的の根源にあり、これを生產する歷史的實体を考察する歷史的實体論の三部門として考察と叙述を展開せる好著。

國民教育の根本問題
文博 木村素衞著
價三十錢 送三
文部省教學局内 興亞教學研究會編（教學新書十九）

哲學の方向
文博 田邊元著
價三十錢 送三
文部省教學局内 興亞教學研究會編（教學新書十四）

西洋史說苑
――時野谷博士還曆記念論文集――
編纂 時野谷博士還曆記念會 代表 原隨園
近刊豫告
本書は我國西洋史學界の權威時野谷常三郎博士（京都帝大）の還曆を迎へるにあたつて、斯學の權威が論文を寄せ、博士の恩徳に報ゆるため[illegible]十九篇を集めたものである。[illegible]西洋文化發展史上の重要な問題をことごとく分析解明せられてゐる。

東京市神田區駿河臺三丁目　振替口座東京第二八〇九番
目黑書店

最新刊!! 支那租界制度論
ジアンエスカラ著　植田捷雄譯
B6判上製二三〇頁 定價一圓八十錢 送料十錢
本書は嘗つて支那政府法律顧問たりし著者が支那に於ける租界を法律的に研究したもので、支那事變處理の途上にあつて租界問題の解決の急を要する時、吾人に絶好の參考となるものである。加ふるに譯者は斯道の權威で、最近の租界を繞る諸情勢の新展開には譯者自ら筆を入れて「譯註」として隨所に挿入されてゐる。
（目次）緒論・第一章租界の淵源、設立、分類・第二章租界の行政――その機構・第三章租界の行政――その運用・第四章租界に於ける司法權・第五章租界の法律的性質――支那への還附を目的とする交涉――結論

好評重版書 日本出版文化協會第一回推薦圖書
東亞考古學會蒙古調査班編
蒙古高原橫斷記
A5判金裝・口繪寫眞圖版五十頁・本文三百二十頁・挿入圖七十餘・定價四圓送料二十二錢
現時に於いて蒙古高原の實狀の認識は東亞の自然・人類・文化を闡明する上頗る緊要不可缺な事である。本書は、その要求に應へて東亞考古學會が曾つて亘る蒙古探檢の結果得たる多大の收穫の內旅行記及び記錄的寫眞を收録したもので興味滿喫のうちに千古の神秘を解する蒙古高原の實狀が理解される。
目次・第一章 シリン・ゴル紀行　第二章 ウラン・チャツブ紀行　第三章 蒙古雜記
執筆者・江上波夫　松澤勳　赤堀英三　橫尾安夫　竹内幾之助

德川封建社會の研究
慶應義塾大學教授 經濟學博士 野村兼太郎著
A5判上製六〇〇頁 定價五圓八十錢 送二十二錢
德川時代二百數十年に亘る長い間大體に於いて外國からの影響を受けず日本民族だけの生活が營まれてゐた。その間に於ける日本文化の成長は日本人自身の手に依つてなされ、その獨自の生活樣式を形成していつた。かゝる時代の社會・經濟の諸狀態を探るのは現時に於いて非常に意義のある事である。本書は野村博士が多年に亘る厖大な研究の結果、德川封建社會の種々相を明らかにせんとする意企のもとに發表されたもので、われわれに多くの示唆を與へるものである。
（目次）第一篇 武士階級の經濟的崩壞　第二篇 農村生活の貧困　第三篇 商業發展の本質　第四篇 幕府の社會・經濟政策

獨逸の戰爭經濟
エスターヘルト著・獨逸文化研究會譯
四六判上製二三〇頁 定價一圓五十錢 送料十錢
本書は獨逸の戰爭經濟を總括的に概觀したものとして獨逸に於ても最初の文獻で戰爭經濟の重點を衝いて餘す處がない。

東京神田一ツ橋二ノ三　振替東京八三七三六番
日光書院

召される日ぞ近し
學徒未曾有の緊張
熱誠はあふる

世界新秩序建設をあくまで妨害せんとする米英に對し畏くも宣戰の大詔渙發され、かくて大東亞戰爭は勃發、今や召される日ぞ近し、一萬の學徒の心はすでに必勝の決意堅く心底より迸る熱情は召される日を待ちつゝかつてなき充實せる□活に入ることとなつた、觀念は行動に實を結ぶべきとき、國難來るの下、次代を背負つて立つ學園の意氣はまさに天をつくものがある、一億の民の先頭に立たん、召される日ぞ近し！

世界新秩序建設の旗は今やまさに立てられた、アメリカ太平洋艦隊の全滅は舊秩序を固守せんとする敗れるもの、にみられるいつにかはらぬ姿である、大東亞戰爭の世界史的意義は國民の一億の胸に深く刻まれ、やがて來らんとする建設の日にうちふるへてゐる、學園のこの歴史的な時代における姿も亦その□のであつた去る十六日には午後二時より御所建禮門前において開催された「米英擊滅國民大會」に本學からも山本學生主事

大學參加、遙拜、默禱、國歌奉唱ののち京都師團司令部附檜山中佐の開會の辭、安藤知事の詔書奉讀等あつたのち、米英の徹底的擊滅を決議し、愛國行進曲の奉唱、萬歲奉唱、ふるへる程の感激にあふれて午後三時すぎ散會した、同學内にあつても各種の學徒らしい運動が次第に拍車をかけられ來つゝあり、獻金運動、貯蓄運動その他が傳はつてゐるが、熱誠の渦巻くところ近く具体的な活潑な、運動を展開するものとみられてゐる

在所を明らかに

非常時局に鑑し、大學と學生との連絡の敏速を期するため學生諸君は左記の場合もれなく所屬學部事務室に屆け出でられたしと

(一)休暇中居所の移動するものはその所在(歸省さきなど)
(二)京都を離れる日と歸學の日
(三)京都における住所で電話の便あるものはその番號等

仕事が出來るのである

と諄々として說き大きな感動を一同に與へ、感激裡に九時過ぎ散會した

煖房は元旦から

本學の煖房はいよ〳〵明年一月一日から開始され三月十日を以て終ることとなつたがその期間中も暖い日は自粛する、勿論暖い日の判定は例年よりずつと嚴重にすることは言をまたない

苔の西芳寺へ

本年度掉尾の催しとして旅行部では明二十一日晝から、洛西の名刹、苔の豐富で美麗な庭園のゆゑに苔寺の稱を以て有名な西芳寺を訪れることとなつた、試驗中もしくは試驗切迫のため一日全部を費すことをさけ半日の行程になつてゐる、なほ集合は四條京阪前、午後一時、費用三十錢

眞劍な討論裡に
學生義勇軍大會終る

さる八日對米英宣戰布告の大詔渙發せられ國を擧げて眞の決戰体制に入つてより、學徒烈々の意氣を示し以て愛國の至情を吐露すべき學生義勇軍主催の學生大會は江木理事を招いて、十二日午後六時から樂友會館で開かれた集まつた熱心な學生は約五十名定刻まづ國民儀禮續いて節唱和のゝち開會にいたるまでの經過の懇切なる說明が江木理事よりあつて、各自の意見發表に移り"今の靑年に何が不足か"の問題を論じ、闘爭心、感激性、實踐力となす者あり或は自己の目標の喪失、責任感、羞恥心の不足を說く者あつて活潑な議論がつぎつぎに展開されてから最後に江木理事より

諸君に今、不足してゐるものは殆んど無いと私は思ふ、しかし強ひて言ふならば、人情といふ點において少し足りないのではないだらうか、人が人を理解するためには情が絶体に必要であり、理窟では割り切れぬ溫か味が相互の人情の上に生じ、そこに本當に腹を打ちわつた大きな

中央委員決定

池田保彦(劍道部委員)栗原得時(共濟部委員)平和川泰毅(新聞部委員)永木貞造(ラ式蹴球部委員)野村和義(陸上競技部委員)

各部主將決定す

森谷庸三(柔)村田晨一(劍)松尾篤正(弓)高木四郎(ラグビー)高橋彦也(サッカー)杉野伊(籠)田中芳文(馬術)鈴木信吉(陸上)坂本基三郎(水)西風正六(端)

學生サナトリウム
舞子に敷地きまる
杉氏記念事業進捗す

遠く異郷にあつて、傷ましき運命と闘ひつゝ遂に不歸の客となつた杉正俊氏の「日本にかへつて學生サナトリウムを設けたい」との意向をくんで同氏の著「郷愁記」の版權、印税を「杉正俊氏記念獎學資金」とし先きに寄託を受けた學生課では課内に「杉正俊記念事業會」を設置して學生の肺結核早期診斷の費用にあてゝゐたが、そ

サナトリウム建設敷地の準備も着々と進捗中で舞子病院西隣の靜かな松林約一千三百餘坪を去月末より整地及び周圍土壁の構築に着手し

若くして惜まれつゝ逝いた學徒の後輩への優しい思ひやりの實の結ぶ日も近く其の完成の日の一日も早からん事が各方面より熱望されてゐる

下宿業者と協議
學生課愈よ乘り出す
重れて協力を

學生下宿生活者の福利增進を計ると同時に報國隊員の有事即應の体制整備のためには、學校當局と下宿業者と學生との相互に理解ある協力が不可缺であるので學生課ではその第一回目の試みとして昨十日午後六時半から樂友會館で學附近のアパート管理者約六十名を集めて懇談會を開さ、課長の挨拶ののち具体的協議に入り、業者からの要望、實狀の開陳などあつて九時過ぎ散會した

なほ第二回目の試みとしてアパートの學生代表と學生課との懇談會が近く行はれるはずであ

激感くまづうに園學

昭和十六年十二月八日は日本歷史始まつて以來の國民の斷乎たる決意を示した輝かしき聖なる日とはなつた！
戰爭だ戰爭だ、嵐の様な歡呼は全日本の津々浦々に高らかに勝利の日の激情みて響きわたつた、學の眞理への道を默々として辿つてゐた靜かな學園にも、なる論理も退ひつけぬ高さに燃え上つた

この日若き學徒一萬の祖國への熱情は、如何揭示板、立看板の數々の緊急告示は比叡ろおしの寒風の中に敢然として建てられ、學生の眞劍な眼を惹いた

西部構内に掲げ附られた共濟部のラジオは戰況を次ぎ次ぎに速報し折からの徵兵檢査に集つた召され征く學徒達の耳に新たな固い決意をふき込んだ(寫眞は西部構内のラジオニュースに耳をすます學生たち)

我等のペンを劍にかへて、逆まく太平洋の怒濤を蹴つて聖戰に起つ日も近いのだ

戰友よ！　今こそ決然とその眉を上げて華と散る日の感激を想はう

あゝ、今こそ世紀の戰ひの幕は引き開けられた

新入營者の爲に

さる八日畏くも宣戰の大詔を拜し我等一億國民は決然として英米に對し破邪顯正の劍を振ふに至り、世界歷史はコペルニカス的大轉回をなするに至つた、私は最近補充兵として無事に御奉公を終へ學園に戻つて來た者であるが、今回諸兄が入營せられるに當り自分の体驗した範圍內で事情の許す限り申述べてみたいと思ふ

▼入營前の注意

諸兄は現役兵として入營せられるのであるから今の中からその準備をしておかれると大變に都合がいい。それは「步兵操典」「軍隊內務書」「軍人勅諭」「戰陣訓」等の勉強である。之は軍人精神を涵養する上に極めて重要な意義を有するもので新兵教育〇ケ月の間は之に終始すると言つても過言ではない。從つて暇さへあれば兵隊は此勉强にいそしむのであるが之等の勉强は今から始めておかれる事をお奬めする。勅語は「操典」「內務書」の綱領、及び「勅諭」「戰陣訓」の暗記である。軍隊は暗記を最重視する、之は後に述べる幹部候補生に採用される前提の一つとしても重要な事である。次に入營まで身体の健康に十分注意し入營時において現在の体力を低下せしむる事なく充分攝生に努められん事を望む。

▼入營時の注意

携帶品は各聯隊毎により入營時の服裝、携帶品の內容、所持金額等は異ると思ふが、大体を言ふと服裝は平常の服裝が普通である。携帶品は手拭、石鹼、歯刷子、歯磨等の洗面用具及びメンソレータム、仁丹、手鏡、安全剃刀、切手、葉書、筆記具等がその主なるものである。特に私の經驗により一つ附加したいものは、巾三糎、長さ十五糎位の白い布片を成る可く多數用意して行く事である。軍隊では之を片刃と言つて洗濯物や修理物に之を附け班名、名前を書いて出すのである。私は此の用意が無かつた爲に大いに困つた經驗がある。最後に褌の着換へを二三枚持つて行く事である。猿股よりも褌の方が軍隊では便利である。

▼入營後の注意

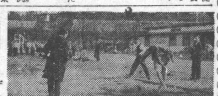
一旦入營したならばその聯隊の傳統、氣風等に速にアダプトする事だ。その爲には班附上等兵の指示によく從ひ一度聞いた事は決して忘れないといふ心得が必要であ

學生食堂登錄制に
申込は共濟部で受附

學生食堂の利用者は最近激增し、品切れ等不便が多かつたが、今度利用者の登錄制を實施して大いに改善することになつたが、それに先立つて共濟部はその豫備資料を供するため、學生食堂利用希望者の申告を受附けることになつた、申告をせぬものは學生食堂利用に支障を來すおそれがあるから、本學職員學生は奮つて申告されたい登錄者には研究實驗講義等のため

蹴球高校大會

冬の恒例の催し、蹴球高校大會は本年は東大で行はれるはずであつたが、時局から本年は全國の高校代表を東京に集めることは中止し、各地域別にこれを行ふことゝなり、西日本高校大會は、元旦から四日まで本學農學部グラウンドで行はれる



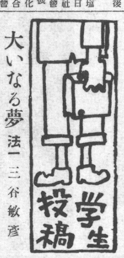
體力章檢定

本年度の體力章檢定會はさる六日再檢査を以て終業期くりあげのため本年は…

同學會の足跡16年度
多方面的な活動に終る

文・依然として停滯
その後の就職狀況

銃劍術クラブ



大いなる夢　法一　三谷敏彥

退屈であり換察であり彷徨である しかも奇異なるものは一度獲得せられた時その本質たる新鮮さを失つてゆく、無限なるものへの憧憬に到つては有限なる地上に於ては永遠にみたさるべくもない。この故に「靑き花」を求めつゝ行くロマンチケルの一群は現實の卑俗を白眼視しつゝ然も何處にもその渴を醫すべくもなく胸に消し難い愁を抱いて彷徨する徒輩である。「永遠の女性」を求めながら女から女へと果しない幻滅の悲哀を繰返す遊蕩兒ドン・ジュアン。これ等破滅のロマンチケルは常もなく人生の路に迷うて死すべき運命を背負うたる生に堪へざるものであつた。彼等はあまりに美しい徒勞を繰返したのである。だが所詮彼等の道は破滅、頽廢への道であつた。

私は夢を空想と同一に解して居るのではない。夢は却て現實をして現實たらしめ現實に息吹きをかけるものなのである。現實とは確かに矛盾に滿ちたものであり人生は或る意味からは「萬人對萬人の闘爭」であり阿鼻叫喚の巷でもあらう。かゝる現實を明確に見、そこに救濟を思ひ現實の再建と再生とを希ふ人間こそが眞の夢を持つ人間なのである。さればこそ、現實の直視から夢と憧憬とが生れて來るのであつて、現實の嚴しさに壓倒され逃避したり或は又現實を無價値と觀じて徒らに孤高を守るものは眞の夢を持つ人の態度ではない。現實をあくまで注視しその矛盾撞着に苦惱し人間の救ひを祈願する所に眞のエロスが生れ出づる少しく以前まで我々の周圍を埋めてみたリアリストは現實を！現實を！と叫びつゝも自らは現實に破られ現實に壓倒された人々である遂には彼等は現實を虛無と觀じ自らの虛無性を弄び自嘲するニヒリストの群へと投じて行つたのである。

吾々は今こそ徒らに老成振つた心を去り靑年らしい夢と憧憬とにみちた若々しい心を蔑視するが如き態度を排すべき時である夢こそは靑年の創意、獨創を生む母胎と信ずる。國をあげて決戰を弄、米に挑む秋、我々靑年が戰のスケールに劣らぬ大きな夢を構想することが必要なのではあるまいか。

併しながら同じく夢と憧憬とを抱いてゐても必ずしもそれが破滅に至る運命であるとは限らない。人間とは靈のイデアを追うてその憧憬を生命として生きるものである。この夢と努力とが存する所其處にこそ人間の人間としての高貴なる生活がある。ロマンテイツクと言ふ言葉は甘い感傷とある場合には幾分かの輕蔑すらもニユアンスとして持つてゐる。しかし本來のロマンテツクとは斯る內容を持つものではない。

一面、夢や憧憬は決して現實よりその脚を遊離せしむるものではない。それは崇高なる空想であらう。

本學惜敗す
對立大籠球戰

本學惜敗、戰績左の如し

▼第一回戰

本學		57(31 26)		39(31 8)	70	立大

▼第二回戰

【立大】	原、保山、久、亀、趙、金、李、高、橋	F C G	計87
【本學】	川本、野山、田、野、藤、木原、田、村、黑杉、押、白河、杉、加、高、中、島、澤	F C G	52

馬事講習會

今回同學會馬術部では、學生の馬事思想普及のため北部構内の馬場において、大体月二回の豫定で馬事講習會を開くことゝなり、すでに十三日、有志約十五名の參集をえて第一回講習會を終へたが、さらに本日午後一時から同所で第二回講習會を開く

銃劍道將校內田中佐の指導によつて銃劍術部省得隊体設立の機運は急速に具体化し、昨十九日有志學生の協議するところがあつたが、近く同學會の認可をえて、とりあへず同學會第一クラブの一つとして誕生する運びとなつた、なほ指導教官には教學部成瀨教授の内諾をえてゐる

執筆者紹介

一めん
駒井卓　本學理學部教授
二めん
大隅健一郎　本學法學部教授
靑山秀夫　本學經濟學部助教授
高田保馬　本學經濟學部教授
堀江保藏　本學經濟學部助教授
荒木俊馬　本學理學部教授
四めん
石田憲次　本學文學部教授
原隨園　本學文學部教授
三木淸　評論家

▼近代ドイツその發展（アンリリシュタンベルジエ著）大野俊一譯
本書は第一次世界大戰の徵候もまだ見えぬ二十世紀初頭に書かれたもので、著者はドイツ發達の動機を企業精神の發展に求め、經濟政治宗教哲學藝術の發展を考察し徐りに專門的に傾くことなく綜合的に述べてゐるもので、本書はその邦譯である（愛宕書房・二圓八十錢）

豫約募集
日本國家科學大系
全十四卷（申込金不要）
法學博士　孫田秀春　監修

眞に變轉極りなき世界的動亂の渦中にあつて我等に最も要望されるものは、我が日本が國家として如何にあらねばならぬかを正しく認識することである。しかもそれは新しい世界觀、新しい民族觀に基いて我等の祖國を科學的に探究しなければならぬ。今や孫田博士監修の下に現代日本の一流學者八十五氏の協力を得て日本國家科學大系の刊行を見るに至つた。純正の日本國家科學を體系づけた眞に畫期的著述として敢て江湖の熱讀を切望する所以である。

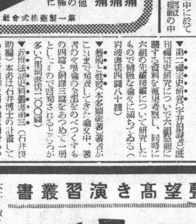
編輯顧問　東京商大教授 經濟學博士 井藤半彌／法政大學教授 經濟學博士 高木友三郎／東京帝大教授 文學博士 久松潛一／東京帝大教授 我妻榮

第一卷 肇國及日本精神
第二卷 哲學及社會學
第三卷 國家學
第四卷 政治學
第五卷 法律學(一)
第六卷 法律學(二)
第七卷 法律學(三)
第八卷 經濟學(一)
第九卷 經濟學(二)
第十卷 經濟學(三)
第十一卷 文化政策論
第十二卷 敎育及厚生政策論
第十三卷 國防論
第十四卷 世界新秩序論

▽全十四卷豫約頒布、自由分賣も可　▽十二月第一回配本（配本中）以後毎月一回配本　▽A5判クロース裝函入上製、每卷四八〇頁內外　▽定價各卷三圓五十錢　送料十四錢

第一回配本（發賣中）第六卷 法律學(二)
第二回配本（一月配本）第十卷 經濟學(三)

內容見本進呈
豫約締切十二月二十五日
東京京橋銀座二ノ一　振替東京二八番　實業之日本社

聲望高き演習叢書


改訂 微分學演習／積分學演習／代數學演習／解析幾何學演習／改訂 物理學演習／力學演習／無機化學演習／有機化學演習／物理學通論／立体幾何學

理工科醫科農學部學生 諸君工業人科學人 待望の數學 物理科學の絶對基礎

文明社

佐々木信綱編
日本歌學大系　全十卷
中古期より近世期に至る歌書・歌論の集大成
第一卷中古篇上、第二卷中古篇下、第二卷中世篇上既刊配本ずみ。第七卷近世篇上十一月中配本。第四卷中世篇下近刊。以下續刊。分賣御申込みに應ず

日本精神史論攷
隨筆 時代祭
美しき倫理
戰記 遠征記
邦人を待つ 佛印の寶庫
ビルマ・ロード
自然科學

月刊 新知識

青年と宗教

三木清

青年が宗教に關心するといふのは自然である。それは特に今日においては二重の意味を持つてゐるであらう。先づ一般的にいつて、青年時代は人生の悲哀や苦惱を感じることが多い。そこに青年の感受性と理想主義とがある。物に感じ易い故に人生の悲哀を感じることも多く、理想主義的である故に現實に對して煩悶することも多いのである。かやうにして宗教に關心が持たれるやうになる。しかるに今日の青年は更に特殊の事情によつて宗教的關心を喚び起されるやうな狀態におかれてゐる。そこに戰爭といふ現實がある。青年は特に直接にこの現實の中に投げ込まれてをり、かやうにして死生の問題……

……の誘惑である。そしてすべての誘惑においてさうであるやうに、宗教的誘惑においても、それに何等の誘惑も感じないやうな人間は問題にならず、しかしまたそれに誘惑されてしまふことは危險である。この誘惑は二樣のものであるであらう。一つは文學的、他の一つは哲學的と呼ぶことができる。第一のものは感傷的である。宗教的誘惑は感傷の甘さの誘惑である。感傷的であることが宗教的であることであるかの如く考へられる。第二の誘惑は、一層思想的な形をとり得るだけ危險も多い。これは浪漫主義の誘惑と稱することができるであらう。とりわけ我が國においてはドイツ浪漫主義の哲學の影響が深いだけ、この誘惑も大きいのである。浪漫的な哲學は一種の宗教的な甘さをもつて青年にう……

……嚴しさを理解することが大切である。宗教的といふ名のもとに甚だ甘い方があまりに多いのではあるまいか。今日の現實は決して甘いものではないのである。しかるに現實的といふ言葉のもとにさへ極めて甘い思想が流布されてゐるといふのが今日の實際ではあるまいか。

表面的に見れば、宗教は今日一種の流行をなしてゐる。ところが現在宗教は現實に對してどれほどの力を持つてゐるであらうか。むしろ宗教の無力の歎かれることが久しいのである。眞に宗教を思ふ者は、この無力が何に由來するかを考へてみなければならない。それは眞の宗教が乏しいことを意味……

世紀の決戰

原隨園

英國紳士

かの格言に曰く「物腰やはらかにされど押し強く」

石田憲次

山脈　福田豐四郎

次郎物語について

編輯室より

大町文衛著　蟲・人・自然（新刊書）　定價貳圓五拾錢　送料拾四錢
本文鳥の子白紙使用箱入B列六號判三五〇頁　濱邊万吉裝幀（寫眞四葉入）
本書は昆虫研究の第一人者コホロギ博士大町文衛氏の多年の蘊蓄を傾倒された斯道の研究と、自然界に關する隨筆とを以てしたもので平易なる筆の中に無限の興趣が滾々と湧くのを覺える。近著日本昆蟲記を讀まれた讀者は必ず並讀されよ。

中谷宇吉郎著　文部省推薦書　隨筆集　續冬の華　七版出來　B列六號判四二〇頁箱入　布裝挿繪三葉入　定價貳圓八拾錢　送料拾四錢
第三冬の華　三版出來　B列六號判三六〇頁箱入　クロース裝挿繪カット多數入　定價貳圓八拾錢　送料拾四錢

安騎東野著　向日葵（新刊書）　定價貳圓參拾錢　送料拾錢
B列六號判箱入三七〇頁　富本憲吉裝幀
生化學の權威者たる著者が多年に渉つて各誌上に發表されその都度問題視された貴重な文獻集である。文中の向日葵の如きは農村食糧問題、榮養糧として切實に論議され實行されつゝある。一編の萬華は書林の科學隨筆を待望さるゝ諸氏を必ず滿足させ得るであらう。

新刊書
森山啓小說集　遠方の人　定價貳圓　送料拾錢
山根武士著　子供の繪を考へる　定價壹圓八拾錢　送料拾錢
金史良小說集　故鄉　定價貳圓　送料拾錢
水原秋櫻子句集　古鏡　定價貳圓貳拾錢　送料拾錢
吉井勇歌集　わが歌日記　定價貳圓　送料拾錢
吉田一次著　蒙彊の子供　定價壹圓八拾錢　送料拾錢

甲鳥書林　【月報呈上】
東京市神田區鎌倉町七　振替東京一四八二一〇
京都市下鴨泉川町六　振替京都一六八二二

隨筆　京都　題字・吉澤義則　寫眞・岡本東洋
B列6號三八〇頁　和紙裝・函入美本　寫眞アート八圖入
定價二圓三十錢（送料十四錢）
再版出來　一月末配本・品薄　豫めお申込おき乞ふ

書き下し京都隨筆集　京都案内に・京都回想に
京都御所……魚澄惣五郎
桂離宮……野上豐一郎
京の秋……澤瀉久孝
京都二題……山本修二
黑谷の炎上……土井虎賀壽
二條城……山口誓子
京の歌……吉井勇
京都の郊外……清原貞雄
他に松浦仁二郎、中村直勝、下村海南、保田與重郎、荻原井泉水、外村繁、金原省吾、佐藤惣之助、近松秋江、池部鈞、美川きよ、矢田津世子、邦枝完二、川路柳虹、岸田日出刀、久松潛一、その他二十氏
和紙上製帙入　二・八〇
豪華版和綴　三・五〇
著者自筆署名入　〇〇

詩集近刊
左記の三著は限定版につき豫めハガキにて申込乞ふ
三好達治著　覊旅十歳　新作に旅の作品を集め、朗讀に適するやう念慮した。
城左門著　終の栖　氏の第四詩集であり、人間完成のあととしても見るべき多し。
丸山薰著　涙した神　氏一流の散文詩を詩帽し、これに新作を加へた。
文と歌　吉井勇著　短歌歳事記（近刊）　上製二・八〇　和紙判三・五〇
一月より師走に至る行事風物を氏特異の歌と文を以て綴つた好著。希望の方はハガキでお申込おきを乞ふ
近刊　中村直勝著　通說日本史
近刊　天沼俊一著　日本古建築行脚
圖書目錄●ウスヰ書房所報●乞申込
京大北門前　ウスヰ書房　電話上三九八〇番　振替京都九二二番

寺町二條　一保堂茶舖　電話上(3)三五四〇番

【大藏省指定】
海上保險、火災保險、航空保險、運送保險、傷害保險、自動車保險、信用保險、硝子保險、盜難保險
東京市麴町區丸ノ內住友ビル　住友海上火災保險會社　京都支店

時計・寶石・貴金屬・眼鏡・蓄音器　渡邊昇雲堂
文房具・畫材料　長谷川日進堂

TYPEWRITERS 修理・賣買

眼科　田中石醫院　河原町今出川南電停前　電話上(3)7776番

醫學博士 小山正光　小山齒科醫院　電話上五八二五番

新藥・試藥・醫科用品　東山藥局　熊野神社停留所前　電話上3140番

アテナの好評に秘密なし　ただ鮮色良質あるのみ！
丸善アテナインキ　2オンス入 30セン
●高級で優雅なアテナ萬年筆●

米英を徹底的に叩き潰さう！
戰時下の精神彈丸「松竹映画」
新京極・京都座

映画史上不朽の名作　ジークフリード　公開について
アルベルガンスの「ヴ」、ルルーと並んで無聲映画を通じての最高傑作と稱されてゐる「ジークフリード」は北獨逸の開闢傳說「ニーベルンゲン」に取材し、テア・フォン・ハルボウ女史が脚色、フリッツ・ラング巨匠によつて完成された映画藝術の最高作品として不朽の價値を持つてゐる
正月八日第二週公開
階上映画館